

奥田一雄・水田 俊：緑藻アオモグサの原形質から分化した球形細胞における  
細胞壁マイクロフィブリルの配向パターンの解析

アオモグサの原形質から分化した球形細胞の細胞壁の構造及び細胞壁マイクロフィブリルの配向パターンをレプリカ法により調べ明らかにした。細胞壁は、マガタマモと同様、壁マトリックスとランダムに配向するセルロースマイクロフィブリルより成る表層部と、その内側を構成する、マイクロフィブリルの規則正しく配向交差する主層部より成る。主層部におけるマイクロフィブリルは次の3つの配向パターン、すなわち(1)経線方向への配向、(2)左巻らせんの方向への配向、(3)右巻らせんの方向への配向、を示し、形成順序は(1)→(2)→(3)→(1)で常に一定であった。各層におけるマイクロフィブリルの形成は、両極部から赤道方向へ向う強い極性依存性を示した。形成の終了した層においては、マイクロフィブリルが扇形、或は弧状構造を描いて配向交差するのがしばしば見られた。極部におけるこの構造は、比較的小さく複数出現し、扇形に広がったマイクロフィブリルは、湾曲を伴い新層を形成していた。極部以外の構造は、比較的長く、マイクロフィブリルは大きく弧を描きながら新層を形成していた。これらのフィブリル配向の形態をもとに、アオモグサの極性依存的細胞壁マイクロフィブリルの配向変換の機構について考察した。(780 高知市曙町 2-5-1 高知大学理学部生物学科)

新 刊 紹 介

山岸高旺・秋山 優(編)：淡水藻類写真集 1, 2, 3 巻, 内田老鶴圃, 各巻100図版, 1巻4000円, 2巻4000円, 3巻5000円. 1959-60.

1977年に同じ出版社から、日本淡水藻類図鑑が出版され話題を集めたが、最近では線描きを用いる人が次第に少くなり、ほとんどの人は写真で調べごとをするようになった。写真はスケッチよりもずっと時間が少くてすみ、いろいろのものを数多く写して比較でき、また、何よりも顕微鏡でみる実物のイメージが現れるという利点があるので、今後ますます写真化の方向へと進むものと思われる。この図集は、このような写真化時代の要求に答えるものとして出版されたもので、1図版に1分類群を取り上げ、普通5～9枚ぐらゐの写真と必要に応じてスケッチもつけるという形式が取られており、これに和文と英文の記載がつけられている。

それぞれの分野の専門家が自慢の写真を載せているので、ポイントをつかんだ写真ばかりであり、しかも、全体像、部分拡大像、生活史の各ステージと、必要なカットが揃えられているので同定には非常に役立つものである。ただ難を言えば、ルーズリーフ式で取扱いにくいこと、一つの属のものが、各巻に分散して見にくいこと、ある属のものが全部揃っていないので、比較しにくいことなどが挙げられる。しかし、ルーズリーフ式で、それぞれの図版に番号が付いているので、ばらしても、引用に不便はないし、今3巻が出ていて、やがて4巻も出るという話であるから、その時点で400分類群がそろふことになる。出版されるごとに、次々と分類順、または属名のアルファベット順に整理していけば、それぞれの時点でかなり利用できるものと思われる。この種の出版物は長い年月をかけて延々と続くため、全部揃ったら手に入れようなどと考えていると、その時点では歯抜けができてしまって臍をかむ場合が多い。私も、HELMCKE & KRIEGER の珪藻写真集のある巻が手に入らず難儀したので、必要と思われる方は集めておかれることをお勧めしたい。

(東京学芸大学生物学教室 小林 弘)

author is also grateful to Dr. Tadao YOSHIDA of Hokkaido University for his valuable advice, critical review of this manuscript and the examination of specimens deposited in the SAP and to Dr. Hideaki OHBA of the University of Tokyo for permitting the examination of specimens deposited in the TI.

### References

- OKAMURA, K. 1897. *Caloglossa ogasawaraensis* OKAMURA. On the algae from Ogasawara-jima (Bonin Islands). Bot. Mag. Tokyo 11: 13-14.
- OKAMURA, K. 1908. Icones of Japanese Algae. 1: 183-186. Pl. 37, Figs 1-11. Published by the author, Tokyo, Japan.

### 瀬戸良三: ホソアヤギヌ *Caloglossa ogasawaraensis* OKAMURA (紅藻類, イギス目) の選定タイプ標本の表示について

小笠原島を type locality とするホソアヤギヌ *Caloglossa ogasawaraensis* は世界特に、日本を含む東アジアに広く分布する、淡水および汽水産の紅藻類である。本種の分類学的研究を進めるに当って、そのタイプ標本を求めて調査をしてきたが、タイプ標本であることを示された標本は見あたらなかった。しかし、岡村によって引用されたと考えられる最も有力な標本が、東大資料館 (TI) と北大理学部 (SAP) の「岡村コレクション」の中から見出されたので、さらに慎重に検討した結果、前者の標本が、岡村の protologue に最もよく一致するものであることが判明したので、これをホソアヤギヌ *Caloglossa ogasawaraensis* の選定タイプ標本とした。(662 西宮市岡田山 4-1 神戸女学院大学研究所)

---



---

## 新 刊 紹 介

---



---

Krypto, F. Flück-Wirth: **Special Catalogue No. 7 for Algae, Lichens, Mosses, Ferns.** 320頁, October 1985. 無料。

スイスの書店クリプトからのカタログ。約320頁の大冊で、著者のアルファベット順に、283頁にわたって藻類、地衣類、コケ類、シダ類の文献、約2000が集録されている。そのうち藻類に関するものは、Algae, Chlorophyta, Chrysophyta, Cyanophyta, Diatomeen, Phaeophyta, Rhodophyta などの項目で、巻末に索引が作られているので、これから引くことになるが相当な数に上るものと思われる。単なるカタログとしてだけでなく、藻類についての総合文献目録としても役立つものと思われるので、ここに紹介することにした。無料 (ただし, SFr. 9.00, DM. 10.00 または US-\$ 5.00 の寄附は歓迎) とのことであるから、下記へ請求されるとよい。

宛先 F. Flück-Wirth, Internationale Buchhandlung,  
CH-9053 Teufen, Switzerland.